

ウェストミンスター小教理問答（日本キリスト改革派教会公認訳）

凡 例

- 1 底本は、ウェストミンスター神学会議が1648年4月14日に議会両院に提出した聖句付き初版である（*The Westminster Standards, An Original Facsimile by The Assembly of Divines*, Old Paths Publications, New Jersey, 1977. 所収）。
- 2 底本では問答に番号は付されていないが、便宜上番号を入れた。また底本では証拠聖句はアルファベットで表示されているが、問答ごとの数字で代用した。
- 3 底本の証拠聖句はKing James Versionによるものである。それゆえ、該当箇所が『聖書 新共同訳』と異なる場合は、[ ]内に『聖書 新共同訳』の箇所を記した。
- 4 本文中の（ ）は原文のままであるが、[ ]は訳者の註記である。
- 5 この公認訳は、袴田康裕訳『ウェストミンスター小教理問答』（第二版、教文館、2019年）を修正したものである（修正箇所は別記のとおり）。修正された翻訳が、2022年11月15日（第77回年度第一回定期大会）と、2023年6月22日（第77回年度第二回定期大会）に可決され、日本キリスト改革派教会公認訳として承認された。

問1 人間の<sup>しゅよう</sup>主要な目的は何ですか。

答 人間の主要な目的は、神の栄光をたたえ<sup>1</sup>、永遠に神を喜ぶことです<sup>2</sup>。

1 I コリ 10・31 ロマ 11・36

2 詩 73・24-28

問2 どうしたら神の栄光をたたえ、永遠に神を喜ぶことができるかについて、神は、わたしたちを教え導くために、どのような<sup>きはん</sup>規範を与えられましたか。

答 旧新約聖書に含まれている神の言葉<sup>1</sup>は、どうしたら神の栄光をたたえ、永遠に神を喜ぶことができるかについて、わたしたちを教え導く唯一の規範です<sup>2</sup>。

1 II テモテ 3・16 エフェ 2・20

2 I ヨハ 1・3-4

問3 聖書はおもに何を教えていますか。

答 聖書はおもに、人間が神について何を信じなければならないか、また、神は人間にどのような義務を求めておられるかを教えています<sup>1</sup>。

1 II テモテ 1・13 3・16

問4 神とは何ですか。

答 神は、その存在<sup>1</sup>、知恵<sup>2</sup>、力<sup>3</sup>、聖<sup>4</sup>、義、いつくしみ、まこと<sup>5</sup>において、無限<sup>6</sup>、永遠<sup>7</sup>、不変<sup>8</sup>の霊<sup>9</sup>です。

1 出 3・14

2 詩 147・5

3 黙 4・8

4 黙 15・4

5 出 34・6-7

6 ヨブ 11・7-9

7 詩 90・2

8 ヤコ 1・17

9 ヨハ 4・24

問5 ひとりより多くの神が存在しますか。

答 ただひとりの神だけがおられます。それは、生けるまことの神です<sup>1</sup>。

1 申 6・4 エレ 10・10

問6 神 [であること] には、いくつの位格<sup>いかく</sup>がありますか。

答 神 [であること] には、三つの位格があり、それは父、子、そして聖霊です。これら三つの位格は、本質において同一であり、力と栄光において同等の、ひとりの神です<sup>1</sup>。

1 Iヨハ5・7 マタ28・19

問7 神の聖定<sup>せいてい</sup>とは何ですか。

答 神の聖定とは、神の御意志<sup>い</sup>の計らいによる永遠の計画です。これによって神は、御自身の栄光のために、起こってくることを何でもすべて、あらかじめ定めておられます<sup>1</sup>。

1 エフェ1・4、11 ロマ9・22-23

問8 神はその聖定を、どのように遂行<sup>すいこう</sup>されますか。

答 神は、創造と摂理<sup>せつり</sup>の御業<sup>み</sup>において、その聖定を遂行されます。

問9 創造の御業とは何ですか。

答 創造の御業とは、神が、すべてのものを無から、御自身の力ある言葉によって、六日間で、極めてよく造られたことです<sup>1</sup>。

1 創1章 ヘブ11・3

問10 神は人間をどのように創造されましたか。

答 神は人間を、知識と義と聖において御自身のかたちにしたがい、被造物<sup>ひぞうぶつ</sup>に対する支配権を有する者として、男性と女性に創造されました<sup>1</sup>。

1 創1・26-28 コロ3・10 エフェ4・24

問11 神の摂理の御業とは何ですか。

答 神の摂理の御業とは、神がその全被造物とそれらのすべての行動とを、最も聖<sup>きよ</sup>く<sup>1</sup>、賢く<sup>2</sup>、力強く、保ち<sup>3</sup>、治めておられること<sup>4</sup>です。

1 詩145・17

2 詩104・24 イザ28・29

3 ヘブ1・3

4 詩103・19 マタ10・29-31

問12 創造された状態にあった人に対して、神は、どのような特別な摂理の行為をされましたか。

答 神は人を創造されたとき、完全な服従を条件として、人と命の契約に入られ、死を罰として、善悪の知識の木から食べることを禁じられました<sup>1</sup>。

1 ガラ 3・12 創 2・17

問 13 わたしたちの最初の先祖たちは、創造された状態にとどまりましたか。

答 わたしたちの最初の先祖たちは、彼ら自身の意志の自由にまかされていたところ、神に対して罪を犯すことによって、創造された状態から墮落しました<sup>1</sup>。

1 創 3・6－8、13 コヘ 7・29

問 14 罪とは何ですか。

答 罪とは、神の律法に少しでもかなわないこと、あるいは、それに違反することです<sup>1</sup>。

1 Iヨハ 3・4

問 15 わたしたちの最初の先祖たちが、創造された状態から墮落した罪とは、何でしたか。

答 わたしたちの最初の先祖たちが、創造された状態から墮落した罪とは、禁じられていた果実を食べたことでした<sup>1</sup>。

1 創 3・6、12

問 16 全人類は、アダムの最初の違反において墮落しましたか。

答 アダムと結ばれた契約は、彼自身のためだけでなく、彼の子孫のためにも結ばれていたもので、通常の出生によってアダムから生まれてくる全人類は、彼の最初の違反において、彼にあって罪を犯し、彼と共に墮落しました<sup>1</sup>。

1 創 2・16－17 ロマ 5・12 Iコリ 15・21－22

問 17 墮落は人類をどのような状態に至らせましたか。

答 墮落は人類を罪と悲惨の状態に至らせました<sup>1</sup>。

1 ロマ 5・12

問 18 人が墮落した状態の罪性はどの点にありますか。

答 人が墮落した状態の罪性は、アダムの最初の罪の罪責と、原義を失っていることと、一般に原罪と呼ばれている全本性の腐敗と、原罪から生じるすべての現実の違反にあります<sup>1</sup>。

1 ロマ5・12、19、3・10-20 [底本は5・10-20だが3・10-20の誤り] エフェ2・1-3 ヤコ1・14-15 マタ15・19

問19 人が墮落した状態の悲惨とは何ですか。

答 全人類は、墮落によって神との交わりを失い<sup>1</sup>、今は神の怒りと呪いの下<sup>のろもと</sup>にあり<sup>2</sup>、そのため、この世でのあらゆる悲惨と、死そのものと、永遠の地獄の罰を免れないものとされています<sup>3</sup>。

1 創3・8、10、24

2 エフェ2・2-3 ガラ3・10

3 哀3・39 ロマ6・23 マタ25・41、46

問20 神は全人類を、罪と悲惨の状態のうちに滅びるままにしておかれましたか。

答 神は、ただご自身のよしとされることにより、<sup>まった</sup>全くの永遠から、ある人々を永遠の命に選んでおられたので<sup>1</sup>、ひとりの贖い主<sup>あがな</sup>によって、彼らを罪と悲惨の状態から解放して救いの状態<sup>い</sup>に入れるために、恵みの契約<sup>はい</sup>に入られました<sup>2</sup>。

1 エフェ1・4

2 ロマ3・20-22 ガラ3・21-22

問21 神の選びの民の贖い主<sup>あがな</sup>とは、誰ですか。

答 神の選びの民の唯一の贖い主は、主イエス・キリストです<sup>1</sup>。かれは、永遠の神の御子でありながら人となられました<sup>2</sup>。それで、二つの全く異なった本性である、神と人でありつつ、一位格<sup>いちいかく</sup>であられ、そして永遠にそうあり続けられます<sup>3</sup>。

1 Iテモ2・5-6

2 ヨハ1・14 ガラ4・4

3 ロマ9・5 ルカ1・35 コロ2・9 ヘブ7・24-25

問22 キリストは、神の御子でありながら、どのようにして人となられましたか。

答 神の御子キリストは、聖霊の力によっておとめマリアの胎<sup>たい</sup>に宿り<sup>やど</sup>、彼女から生まれながらも<sup>1</sup>罪はないという仕方で<sup>2</sup>、御自身に真実の体<sup>からだ</sup><sup>3</sup>と理性的靈魂<sup>4</sup>をとって人となられました。

1 ルカ1・27、31、35、42 ガラ4・4

2 ヘブ4・15 7・26

3 ヘブ2・14、16、10・5

4 マタ26・38

問 23 キリストは、わたしたちの贖い主として、どのような職務を遂行されますか。

答 キリストは、わたしたちの贖い主として、謙卑と高擧のいずれの状態においても、預言者と祭司と王の職務を遂行されます<sup>1</sup>。

- 1 使 3・21-22 ヘブ 12・25 さらにⅡコリ 13・3、ヘブ 5・5-7、ヘブ 7・25 も参照 詩 2・6 イザ 9・6-7 [9・5-6] マタ 21・5 詩 2・8-11

問 24 キリストは、預言者の職務をどのように遂行されますか。

答 キリストは、御自身の御言葉と御霊によって、わたしたちの救いのために、神の御意志を啓示することにより、預言者の職務を遂行されます<sup>1</sup>。

- 1 ヨハ 1・18 Iペトロ 1・10-12 ヨハ 15・15、20・31

問 25 キリストは、祭司の職務をどのように遂行されますか。

答 キリストは、神の義を満たしてわたしたちを神に和解させるために<sup>1</sup>、御自身をいけにえとしてただ一度献げたことと<sup>2</sup>、わたしたちのために絶えず執り成しをされることによって<sup>3</sup>、祭司の職務を遂行されます。

- 1 ヘブ 2・17
- 2 ヘブ 9・14、28
- 3 ヘブ 7・24-25

問 26 キリストは、王の職務をどのように遂行されますか。

答 キリストは、わたしたちを御自身に従わせること<sup>1</sup>、わたしたちを治め<sup>2</sup>、守ること<sup>3</sup>、また、かれとわたしたちのすべての敵を抑え、征服することによって<sup>4</sup>王の職務を遂行されます。

- 1 使 15・14-16
- 2 イザ 33・22
- 3 イザ 32・1-2
- 4 Iコリ 15・25 詩 110編

問 27 キリストの謙卑はどの点にありましたか。

答 キリストの謙卑は、かれが生まれられたこと、それも低い状態であられたこと<sup>1</sup>、律法の下に置かれたこと<sup>2</sup>、この世の悲惨<sup>3</sup>と神の怒り<sup>4</sup>と十字架の呪いの死<sup>5</sup>を忍ばれたこと、そして葬られたこと<sup>6</sup>、しばらくの間死の力の下にとどまられたこと<sup>7</sup>にありました。

- 1 ルカ 2・7
- 2 ガラ 4・4
- 3 ヘブ 1 2・2-3 イザ 5 3・2-3
- 4 ルカ 2 2・4 4 マタ 2 7・4 6
- 5 フィリ 2・8
- 6 I コリ 1 5・4 [底本は 1 5・3 だが 1 5・4 の誤り]
- 7 使 2・2 4-2 7、3 1

問 28 キリストの<sup>こうきよ</sup>高擧はどの点にありますか。

答 キリストの高擧は、かれが三日目に死人の中からよみがえられたこと<sup>1</sup>、天に<sup>のぼ</sup>昇られたこと<sup>2</sup>、父なる神の右に座しておられること<sup>3</sup>、終わりの日に世を裁くために来られること<sup>4</sup>にあります。

- 1 I コリ 1 5・4
- 2 マコ 1 6・1 9
- 3 エフェ 1・2 0
- 4 使 1・1 1、1 7・3 1

問 29 わたしたちはどのようにして、キリストによって買い取られた<sup>あがな</sup>贖いにあずかる者とされるのですか。

答 わたしたちは、キリストによって買い取られた贖いが、かれの<sup>あがな</sup>聖霊により<sup>1</sup>、わたしたちに有効に適用されることよって<sup>2</sup>、それにあずかる者とされます。

- 1 テト 3・5-6
- 2 ヨハ 1・1 1-1 2

問 30 御霊は、キリストによって買い取られた<sup>あがな</sup>贖いを、どのようにしてわたしたちに適用されるのですか。

答 御霊は、わたしたちの内に信仰を生じさせ<sup>1</sup>、それによってわたしたちを<sup>ゆうこうしょうめい</sup>有効召命においてキリストに結びつけることにより<sup>2</sup>、キリストによって買い取られた贖いをわたしたちに適用されます。

- 1 エフェ 1・1 3-1 4 ヨハ 6・3 7、3 9 エフェ 2・8
- 2 エフェ 3・1 7 I コリ 1・9

問 31 有効召命とは何ですか。

答 有効召命とは、神の御霊の<sup>わざ</sup>業であって<sup>1</sup>、それによって御霊は、わたしたちに自分の罪と悲惨を<sup>じかく</sup>自覚させ<sup>2</sup>、わたしたちの知性をキリストを知る知識で照らし<sup>3</sup>、わた

私たちの意志を新たにしてください<sup>4</sup>。こうして御霊は、福音においてわたしたちに無償で提供されているイエス・キリストを、受け入れるように説得し、それができるようにしてください<sup>5</sup>。

- 1 IIテモ1・9 IIテサ2・13-14
- 2 使2・37
- 3 使26・18
- 4 エゼ36・26-27
- 5 ヨハ6・44-45 フィリ2・13

問 32 有効に召される人は、この世において、どのような恩恵にあずかるのですか。

答 有効に召される人は、この世において、義認<sup>1</sup>、子とすること<sup>2</sup>、聖化、さらにこの世において、それらに伴い、あるいはそれらから生じるさまざまな恩恵<sup>3</sup>にあずかります。

- 1 ロマ8・30
- 2 エフェ1・5
- 3 Iコリ1・26、30

問 33 義認とは何ですか。

答 義認とは、神の無償の恵みの行為であり、それによって神は、わたしたちのすべての罪を赦し<sup>1</sup>、わたしたちを神の前に義なる者として受け入れてください<sup>2</sup>。それはただ、わたしたちに転嫁され<sup>3</sup>、信仰によってのみ受け取られるキリストの義のゆえです<sup>4</sup>。

- 1 ロマ3・24-25、4・6-8
- 2 IIコリ5・19、21
- 3 ロマ5・17-19
- 4 ガラ2・16、フィリ3・9

問 34 子とすることとは何ですか。

答 子とすることとは、神の無償の恵みの行為であり<sup>1</sup>、それによってわたしたちは、神の子たちの数に入れられ、神の子のあらゆる特権にあずかる権利を持つ者となります<sup>2</sup>。

- 1 Iヨハ3・1
- 2 ヨハ1・12 ロマ8・17

問 35 聖化とは何ですか。



答 聖化とは、神の無償の恵みの御業<sup>みわざ</sup>であり<sup>1</sup>、それによってわたしたちは、神のかたちにしたがってその人全体<sup>ぜんたい</sup>が新たに<sup>あら</sup>され<sup>2</sup>、ますます罪に対して死に、義に対して生きることができるようにされます<sup>3</sup>。

1 IIテサ2・13

2 エフェ4・23-24

3 ロマ6・4、6

問 36 この世において、義認、子とすること、聖化<sup>ともな</sup>に伴い、あるいはそれらから<sup>しょう</sup>生じる恩恵とは何ですか。

答 この世において、義認、子とすること、聖化に伴い、あるいはそれらから生じる恩恵とは、神の愛の確信、良心の平和<sup>1</sup>、聖霊における喜び<sup>2</sup>、恵みの増加<sup>3</sup>、そして恵みの内に最後まで堅忍<sup>けんじん</sup>することです<sup>4</sup>。

1 ロマ5・1-2、5

2 ロマ14・17

3 箴4・18

4 Iヨハネ5・13 Iペトロ1・5

問 37 信仰者は死のとき、キリストからどのような恩恵を受けますか。

答 信仰者の霊魂は、彼らの死のとき、完全に<sup>きよ</sup>聖くされ<sup>1</sup>、直ちに<sup>ただ</sup>栄光に入り<sup>2</sup>、信仰者の<sup>からだ</sup>体は、なおキリストに結びつけられたまま<sup>3</sup>、復活まで<sup>4</sup>墓の中で休みます<sup>5</sup>。

1 ヘブ12・23

2 IIコリ5・1、6、8 フィリ1・23 ルカ23・43

3 Iテサ4・14

4 ヨブ19・26-27

5 イザ57・2

問 38 信仰者は復活のとき、キリストからどのような恩恵を受けますか。

答 復活のとき、信仰者は、栄光の内によみがえらせられ<sup>1</sup>、裁きの日に、<sup>おおよげ</sup>公に承認され、無罪とされます<sup>2</sup>。さらに、<sup>えいきゆう</sup>永久に<sup>3</sup>、神を限りなく喜ぶことにおいて完全に祝福されます<sup>4</sup>。

1 Iコリ15・43

2 マタ25・23、10・32

3 Iテサ4・17-18

4 Iヨハ3・2 Iコリ13・12

問 39 神が人間に求めておられる義務は、何ですか。

答 神が人間に求めておられる義務は、啓示された神の御意志に服従することです<sup>1</sup>。

1 ミカ 6・8 サム上 15・22

問 40 神は、服従の規範として、最初に何を人間に啓示されましたか。

答 神が服従のため最初に人間に啓示された規範は、道徳律法でした<sup>1</sup>。

1 ロマ 2・14－15、10・5

問 41 道徳律法は、どこに要約して含まれていますか。

答 道徳律法は、十戒の中に要約して含まれています<sup>1</sup>。

1 申 10・4

問 42 十戒の要約は何ですか。

答 十戒の要約は、心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、わたしたちの神である主を愛すること、また、わたしたちの隣人を自分自身のように愛することです<sup>1</sup>。

1 マタ 22・37－40

問 43 十戒の序言は何ですか。

答 十戒の序言は、「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である」<sup>1</sup>という言葉です。

1 出 20・2

※ 十戒の引用は新共同訳聖書による。

問 44 十戒の序言は、わたしたちに何を教えていますか。

答 十戒の序言はわたしたちに、神は主であり、さらに、わたしたちの神また贖い主でもあられるので、それゆえわたしたちは、神のすべての戒めを守らなければならないということを教えています<sup>1</sup>。

1 ルカ 1・74－75 Iペト 1・15－19

問 45 第一戒はどれですか。

答 第一戒は、「あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない」<sup>1</sup>です。

1 出 20・3

※ 底本の欽定訳は“Thou shalt have no other gods before me.”で、「わたしの前に」という言葉があるが新共同訳にはない。

問 46 第一戒では、何が求められていますか。

答 第一戒はわたしたちに、神が唯一のまことの神、またわたしたちの神であることを知り、認めること<sup>1</sup>、そして、それにふさわしく神を礼拝し、神の栄光をたたえること<sup>2</sup>を求めています。

1 代上 28・9 申 26・17

2 マタ 4・10 詩 29・2

問 47 第一戒では、何が禁じられていますか。

答 第一戒は、まことの神を神とすること<sup>1</sup>と、わたしたちの神とすること<sup>2</sup>を否定し<sup>3</sup>、あるいは[そのような神としてまことの神を]礼拝せず、栄光をたたえないこと、さらに、神のみにささげられるべき礼拝と栄光を、他のなにものかにも与えること<sup>4</sup>を禁じています。

1 ロマ 1・21

2 詩 81・10－11 [81・11－12]

3 詩 14・1

4 ロマ 1・25－26

問 48 第一戒の「わたしの前に」※という言葉によって、わたしたちは特別に何を教えられていますか。

答 第一戒の「わたしの前に」という言葉は、すべてのことを見ておられる神は、どのような他の神を持つ罪にも注意を払い、これを非常に嫌われることをわたしたちに教えています<sup>1</sup>。

1 エゼ 8・5－18

※ “before me” の訳。新共同訳にこの言葉はない。

問 49 第二戒はどれですか。

答 第二戒は、「あなたはいかなる像も造ってはならない。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形も造ってはならない。あなたはそれらに向かってひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。わたしは主、あなたの神。わたしは熱情の神である。わたしを否む者には、父祖の罪を子孫に三代、四代までも問うが、わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える」<sup>1</sup>です。

1 出 20・4－6

問 50 第二戒では、何が求められていますか。

答 第二戒は、神が御言葉<sup>みことば</sup>において定めておられるすべての宗教的礼拝と規定を、受け入れ、実行し、純粹かつ完全に保つことを求めています<sup>1</sup>。

1 申32・46 マタ28・20 使2・42

問 51 第二戒では、何が禁じられていますか。

答 第二戒は、像により<sup>1</sup>、あるいは神の御言葉によって定められていない他のなんらかの仕方<sup>しかた</sup>で<sup>2</sup>、神を礼拝することを禁じています。

1 申4・15－19 出32・5、8

2 申12・31、32 [12・31－13・1]

問 52 第二戒に付け加えられている理由は、何ですか。

答 第二戒に付け加えられている理由は、わたしたちに対する神の主権<sup>1</sup>と、わたしたちに対する神の所有権<sup>2</sup>と、神が御自身<sup>ごじしん</sup>への礼拝に対して持つておられる熱情<sup>3</sup>です。

1 詩95・2－3、6

2 詩45・11 [45・12]

3 出34・13－14

問 53 第三戒はどれですか。

答 第三戒は、「あなたの神、主の名をみだりに唱<sup>とな</sup>えてはならない。みだりにその名を唱える者を主は罰せずにはおられない」<sup>1</sup>です。

1 出20・7

問 54 第三戒では、何が求められていますか。

答 第三戒は、神の御名<sup>みな</sup><sup>1</sup>、称号<sup>しょうごう</sup><sup>2</sup>、属性<sup>ぞくせい</sup><sup>3</sup>、規定<sup>4</sup>、御言葉<sup>5</sup>、御業<sup>6</sup>を、聖く敬虔<sup>きよ けいけん</sup>に用いることを求めています。

1 マタ6・9 申28・58

2 詩68・4 [68・5]

3 黙15・3－4

4 マラ1・11、14

5 詩138・1－2

6 ヨブ36・24

問 55 第三戒では、何が禁じられていますか。

答 第三戒は、神が御自身を知らせるのに用いておられるいかなるものをも、汚<sup>けが</sup>したり、濫用<sup>らんよう</sup>したりすることすべてを禁じています<sup>1</sup>。

1 マラ1・6－7、12、2・2、3・14

問 56 第三戒に付け加えられている理由は、何ですか。

答 第三戒に付け加えられている理由は、この戒めを破る者たちが、たとえ人間による罰を免れたとしても、わたしたちの神である主は、彼らが御自身の正しい裁きを免れることをお許しにならない、ということです<sup>1</sup>。

1 サム上 2・12、17、22、29、3・13 申 28・58-59

問 57 第四戒はどれですか。

答 第四戒は、「安息日を心に留め、これを聖別せよ。六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。六日の間に主は天と地と海とそこにあるすべてのものを造り、七日目に休まれたから、主は安息日を祝福して聖別されたのである」<sup>1</sup>です。

1 出 20・8-11

問 58 第四戒では、何が求められていますか。

答 第四戒は、神が御言葉において定めておられる一定の時、すなわち、七日の内丸一日を、御自身に対する聖なる安息日となるように、神に対して聖く守ることを求めています<sup>1</sup>。

1 申 5・12-14

問 59 神は、七日の内のどの日を、週ごとの安息日に指定されましたか。

答 神は、世の初めからキリストの復活までは、週の第七日を週ごとの安息日に指定されました。そしてそれ以降は、世の終わりまで継続して、週の第一日を安息日に指定されました。これがキリスト教安息日です<sup>1</sup>。

1 創 2・2-3 I コリ 16・1-2 使 20・7

問 60 安息日は、どのように聖別されなければなりませんか。

答 安息日は、他の日には合法的であるこの世の業務や娯楽からも離れて<sup>1</sup>、その日丸一日を聖く休むことにより<sup>2</sup>、また、やむを得ない働きと慈善の働きに用いられる時間を除き<sup>3</sup>、すべての時間を公的私的に神を礼拝する営みに用いることによって<sup>4</sup>、聖別されなければなりません。

1 出 16・25-28 ネヘ 13・15-19、21-22

2 出 20・8、10

3 マタ 12・1-13

4 ルカ 4・16 使 20・7 詩 92編の表題 [詩 92・1] イザ 66・23

問 61 第四戒では、何が禁じられていますか。

答 第四戒は、求められている義務を<sup>おこた</sup>怠ったり、いい<sup>かげん</sup>加減に果たすことと<sup>たいだ</sup>1、怠惰や<sup>2</sup>、それ自体が罪深いことを行うことにより<sup>3</sup>、あるいは、この世の業務や娯楽についての不必要な思い、言葉、行いによって<sup>4</sup>、この日を<sup>けが</sup>汚すことを禁じています。

1 エゼ 22・26 アモ 8・5 マラ 1・13

2 使 20・7、9

3 エゼ 23・38

4 エレ 17・24－26 イザ 58・13

問 62 第四戒に付け加えられている理由は、何ですか。

答 第四戒に付け加えられている理由は、神がわたしたち自身の業務のために一週の内<sup>むいかかん</sup>六日間をわたしたちに与えておられること<sup>1</sup>、第七日<sup>ななにち</sup>に対しては特別な所有権を主張しておられること、神御自身の<sup>もほん</sup>模範、神が安息日<sup>び</sup>を祝福しておられること<sup>2</sup>。

1 出 20・9

2 出 20・11

問 63 第五戒はどれですか。

答 第五戒は、「あなたの<sup>ちちはは</sup>父母を<sup>うやま</sup>敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることができる」<sup>1</sup>です。

1 出 20・12

問 64 第五戒では、何が求められていますか。

答 第五戒は、<sup>めうえ</sup>目上の人<sup>1</sup>、<sup>めした</sup>目下の人<sup>2</sup>、あるいは<sup>たいとう</sup>対等の人<sup>3</sup>として、さまざまな立場と関係において、すべての人に伴う名誉を守り、[その人に対する]義務を果たすことを求めています。

1 エフェ 5・21

2 Iペト 2・17

3 ロマ 12・10

問 65 第五戒では、何が禁じられていますか。

答 第五戒は、さまざまな立場と関係において、すべての人に伴っている名誉と [その人に対する]義務を無視したり、あるいはそれらに反することをを行うことを禁じています<sup>1</sup>。

1 マタ 15・4－6 エゼ 34・2－4 ロマ 13・8

問 66 第五戒に付け加えられている理由は、何ですか。

答 第五戒に付け加えられている理由は、この戒めを守るすべての人々に対する長寿と繁栄（それが神の栄光と彼ら自身の益になる限り）の約束です<sup>1</sup>。

1 申5・16 エフェ6・2-3

問 67 第六戒はどれですか。

答 第六戒は、「殺してはならない」<sup>1</sup>です。

1 出20・13

問 68 第六戒では、何が求められていますか。

答 第六戒は、わたしたち自身の命<sup>1</sup>と他の人々の命<sup>2</sup>を守るための、あらゆる合法的な努力を求めています。

1 エフェ5・28-29

2 王上18・4

問 69 第六戒では、何が禁じられていますか。

答 第六戒は、わたしたち自身の命や隣人の命を不当に奪うこと、あるいは、それに向かうすべてのことを禁じています<sup>1</sup>。

1 使16・28 創9・6

問 70 第七戒はどれですか。

答 第七戒は、「姦淫してはならない」<sup>1</sup>です。

1 出20・14

問 71 第七戒では、何が求められていますか。

答 第七戒は、心と発言とふるまいにおいて、わたしたち自身と隣人の純潔を守ることを求めています<sup>1</sup>。

1 Iコリ7・2-3、5、34、36 コロ4・6 Iペト3・2

問 72 第七戒では、何が禁じられていますか。

答 第七戒は、すべての不純な思いと言葉と行いを禁じています<sup>1</sup>。

1 マタ15・19、5・28 エフェ5・3-4

問 73 第八戒はどれですか。

答 第八戒は、「盗んではならない」<sup>1</sup>です。

1 出20・15

問 74 第八戒では、何が求められていますか。

答 第八戒は、わたしたち自身と他の人々の富と物質的な生活状態を、合法的に獲得し、殖やすことを求めています<sup>1</sup>。

1 創30・30 Iテモ5・8 レビ25・35 申22・1-4 出23・4-5 創47・14、20

問 75 第八戒では、何が禁じられていますか。

答 第八戒は、わたしたち自身や隣人の富や物質的な生活状態を、不当に損なったり、あるいはその恐れのあるすべてのことを禁じています<sup>1</sup>。

1 箴21・17、23・20-21、28・19 エフェ4・28

問 76 第九戒はどれですか。

答 第九戒は、「隣人に関して偽証してはならない」<sup>1</sup>です。

1 出20・16

問 77 第九戒では、何が求められていますか。

答 第九戒は、人と人との間の真実と<sup>1</sup>、わたしたち自身および隣人の名声を保ち、促進すること<sup>2</sup>を求めています。特に証言する時にそれを求めています<sup>3</sup>。

1 ゼカ8・16

2 IIIヨハ12

3 箴14・5、25

問 78 第九戒では、何が禁じられていますか。

答 第九戒は、真実をゆがめたり、あるいは、わたしたち自身や隣人の名声を傷つけるすべてのことを禁じています<sup>1</sup>。

1 サム上17・28 レビ19・16 詩15・3

問 79 第十戒はどれですか。

答 第十戒は、「隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛、ろばなど隣人のものを一切欲してはならない」<sup>1</sup>です。

1 出20・17

問 80 第十戒では、何が求められていますか。

答 第十戒は、隣人とそのすべての所有物に対して、正しい思いやりの心を持ちつつ<sup>1</sup>、わたしたち自身の状況に十分満足することを求めています<sup>2</sup>。



- 1 ヨブ 31・29 ロマ 12・15 Iテモ 1・5 Iコリ 13・4-7  
 2 ヘブ 13・5 Iテモ 6・6

問 81 第十戒では、何が禁じられていますか。

答 第十戒は、わたしたち自身の生活状態に少しも満足しないこと<sup>1</sup>、隣人の幸<sup>さいわ</sup>いをねたんだり悲しんだりすること<sup>2</sup>、また、隣人の所有するいかなるものに対してであれ、過度な意向<sup>かど</sup>や愛着<sup>いこう</sup>を抱くこと<sup>あいちやく</sup><sup>いだ</sup><sup>3</sup>を禁じています。

- 1 王上 21・4 エス 5・13 Iコリ 10・10  
 2 ガラ 5・26 ヤコ 3・14、16  
 3 ロマ 7・7-8、13・9 申 5・21

問 82 これらの神の戒めを完全に守れる人が、誰かいますか。

答 墮落以来、単なる人間は誰も、この世においてこれらの神の戒めを完全に守ることはできません<sup>1</sup>。かえって、思いと言葉と行いにおいて、日ごとにそれらを破っています<sup>2</sup>。

- 1 コヘ 7・20 Iヨハ 1・8、10 ガラ 5・17  
 2 創 6・5、8・21 ロマ 3・9-21 ヤコ 3・2-13

問 83 律法に対する違反はすべて、同じ程度に邪悪<sup>じあく</sup>なものなのですか。

答 ある罪は、それ自体で、またいくつかの加重<sup>かじゅう</sup>の理由によって、他の罪よりも神の判断<sup>はんだん</sup>においていっそう邪悪なもの<sup>1</sup>です。

- 1 エゼ 8・6、13、15 Iヨハ 5・16 詩 78・17、32、56

問 84 すべての罪は、何に価<sup>あたい</sup>しますか。

答 すべての罪は、この世においても、来るべき世においても、神の怒りと呪いに価<sup>あたい</sup>します<sup>1</sup>。

- 1 エフェ 5・6 ガラ 3・10 哀 3・39 マタ 25・41

問 85 罪のためにわたしたちが受けて当然である神の怒りと呪いを免<sup>まぬか</sup>れるために、神はわたしたちに何を求めておられますか。

答 罪のためにわたしたちが受けて当然である神の怒りと呪いを免<sup>まぬか</sup>れるために、神はわたしたちに、イエス・キリストへの信仰と、命に至る悔い改めと<sup>1</sup>、それらと共に、キリストが贖いの恩恵をわたしたちに分かち与えるのにお用いになるすべての外的手段を、注意深く用いること<sup>2</sup>を求めておられます。

- 1 使 20・21  
 2 箴 2・1-6、8・33-36 イザ 55・3

問 86 イエス・キリストへの信仰とは何ですか。

答 イエス・キリストへの信仰とは、救いの恵みの賜物<sup>たまもの</sup>です<sup>1</sup>。それによってわたしたちは、救いのために、福音においてわたしたちに提供されているままに、キリストのみを受け入れ、かれにのみより頼むのです<sup>2</sup>。

1 ヘブ 10・39

2 ヨハ 1・12 イザ 26・3-4 フィリ 3・9 ガラ 2・16

問 87 命に至る悔い改めとは何ですか。

答 命に至る悔い改めとは、救いの恵みの賜物<sup>たまもの</sup>です<sup>1</sup>。それによって罪人<sup>つみびと</sup>は、自分の罪を真<sup>しん</sup>に自覚し<sup>2</sup>、キリストにおける神の憐れみ<sup>あわ</sup>を悟<sup>きと</sup>ることによって<sup>3</sup>、自分の罪を嘆き<sup>なげ</sup>憎みつつ、新しい服従への十分な決意と努力とをもって<sup>4</sup>、罪から神に立ち帰るので<sup>5</sup>。

1 使 11・18

2 使 2・37-38

3 ヨエ 2・12 エレ 3・22

4 II コリ 7・11 イザ 1・16-17

5 エレ 31・18-19 エゼ 36・31

問 88 キリストが、贖いの恩恵をわたしたちに分かち与えるのにお用いになる外的手段は何ですか。

答 キリストが、贖いの恩恵をわたしたちに分かち与えるのにお用いになる外的で通常的手段は、キリストの諸規定<sup>しよきてい</sup>、特に、御言葉と聖礼典と祈りです。これらすべてが、選びの民にとって救いのために有効とされます<sup>1</sup>。

1 マタ 28・19-20 使 2・42、46-47

問 89 御言葉は、どのようにして救いに有効とされるのですか。

答 神の御霊が、御言葉の朗読<sup>ろうどく</sup>、特に御言葉の説教を、罪人<sup>つみびと</sup>に罪を自覚させて回心させ、さらに彼らを信仰によって聖さと慰めのうちに建て上げ、救いに至<sup>いた</sup>らせる、有効な手段とされます<sup>1</sup>。

1 ネヘ 8・8 I コリ 14・24-25 使 26・18 詩 19・8 [19・9]

使 20・32 ロマ 15・4 II テモ 3・15-17 ロマ 10・13-17、

1・16

問 90 御言葉が救いに有効となるためには、それはどのように読まれ、聞かれなければなりませんか。

答 御言葉が救いに有効となるためには、わたしたちは、注意深さ<sup>1</sup>と準備<sup>2</sup>と祈り<sup>3</sup>をもってこれに傾聴<sup>けいちよう</sup>し、信仰と愛をもって受け入れ<sup>4</sup>、わたしたちの心の内にたくわえ<sup>5</sup>、生活の中で実践<sup>じっせん</sup>しなければなりません<sup>6</sup>。

- 1 箴8・34
- 2 Iペト2・1-2
- 3 詩119・18
- 4 ヘブ4・2 IIテサ2・10
- 5 詩119・11
- 6 ルカ8・15 ヤコ1・25

問91 聖礼典は、どのようにして救いの有効な手段となるのですか。

答 聖礼典は、それ自身の内にある、あるいはそれを執行<sup>しつこう</sup>する人の内にあるどのような力によるのでもなく、信仰によってそれを受ける人々において、ただキリストの祝福<sup>1</sup>とキリストの霊<sup>れい</sup>の働き<sup>2</sup>によって、救いの有効な手段となります。

- 1 Iペトロ3・21 マタ3・11 Iコリ3・6-7
- 2 Iコリ12・13

問92 聖礼典とは何ですか。

答 聖礼典とは、キリストが制定された聖<sup>きよ</sup>い規定です。そこにおいて、キリストと新しい契約の恩恵が、知覚<sup>ちかく</sup>できるしるしによって、信仰者に対して現され、証印<sup>しょういん</sup>され、適用されます<sup>1</sup>。

- 1 創17・7、10 出12章、Iコリ11・23、26

問93 新約の聖礼典はどれですか。

答 新約の聖礼典は、洗礼<sup>1</sup>と主の晩餐<sup>ばんさん</sup><sup>2</sup>です。

- 1 マタ28・19
- 2 マタ26・26-28

問94 洗礼とは何ですか。

答 洗礼とは、父と子と聖霊<sup>みみな</sup>の御名による水の洗いが<sup>1</sup>、わたしたちがキリストに接ぎ木されること、恵みの契約の恩恵にあずかること、また、主のものになるというわたしたちの約束を、表示<sup>ひょうじ</sup>し、証印<sup>しょういん</sup>する<sup>2</sup>聖礼典です。

- 1 マタ28・19
- 2 ロマ6・4 ガラ3・27

問95 洗礼は、誰に対して執行<sup>しつこう</sup>されるべきですか。

答 洗礼は、キリストへの信仰とかれへの服従を公に告白するまでは、見える教会の外に  
いるいかなる人に対しても執行されてはなりません<sup>1</sup>。しかし、見える教会の会員の  
幼児には、洗礼を授けられるべきです<sup>2</sup>。

1 使 8・36－37、2・38

2 使 2・38－39 創 17・10 さらにコロ 2・11－12も参照 I コリ 7・  
14

問 96 主の晩餐とは何ですか。

答 主の晩餐とは、キリストの御定めに従ってパンとぶどう酒を与え、また受けること  
によって、キリストの死が示され、そしてふさわしい陪餐者が、身体的・肉的にはな  
く、信仰によって、彼らの霊的養いと恵みにおける成長のために、キリストの体と  
血とそれに伴うすべてのキリストの恩恵にあずかる者とされる聖礼典です<sup>1</sup>。

1 I コリ 11・23－26、10・16

問 97 主の晩餐をふさわしく受けるために、何が求められていますか。

答 主の晩餐にふさわしくあずかろうとする人には、ふさわしくないままで来て飲み食  
いし、自分に裁きを招くことがないように<sup>1</sup>、主の御体をわきまえる知識<sup>2</sup>と、キリ  
ストを糧とする自らの信仰<sup>3</sup>と、悔い改め<sup>4</sup>と愛<sup>5</sup>と新しい服従<sup>6</sup>について、自分自身  
を吟味することが求められています。

1 I コリ 11：28－29

2 I コリ 11：28－29

3 II コリ 13・5

4 I コリ 11・31

5 I コリ 10・16－17

6 I コリ 5・7－8

問 98 祈りとは何ですか。

答 祈りとは、神の御心にかなうことを求めて<sup>1</sup>、キリストの御名により<sup>2</sup>、わたしたち  
の罪の告白と<sup>3</sup>、神の憐れみへの心からの感謝<sup>4</sup>と共に、わたしたちの願いを神にさ  
さげることです<sup>5</sup>。

1 I ヨハ 5・14

2 ヨハ 16・23

3 詩 32・5－6 ダニ 9・4

4 フィリ 4・6

5 詩 62・8 [62・9]

問 99 神は、わたしたちの祈りを指導するために、どのような規範を与えておられますか。

答 神の御言葉全体が、祈りについてわたしたちを指導するのに有用です<sup>1</sup>。しかし、指導の特別な規範は、キリストが弟子たちに教えられた祈禱文、いわゆる「主の祈り」です<sup>2</sup>。

1 Iヨハネ5・14

2 マタ6・9－13 さらにルカ11・2－4も参照。

問 100 主の祈りの序言は、わたしたちに何を教えていますか。

答 主の祈りの序言である「天にまします我らの父よ」<sup>1</sup>は、わたしたちを助けることができ、また助けようとしておられる神に、子どもが父親に対してするように、もっぱら聖い崇敬と信頼をもって近づくことと<sup>2</sup>、わたしたちが、他の人々と共に、また他の人々のために祈るべきであること<sup>3</sup>を教えています。

1 マタ6・9

2 ロマ8・15 ルカ11・13

3 使12・5 Iテモ2・1－2

※主の祈りの引用は『讚美歌』（日本基督教団出版局、1954年）564番による。

問 101 第一の祈願において、わたしたちは何を祈り求めるのですか。

答 第一の祈願である「ねがわくはみ名をあげさせたまえ」<sup>1</sup>では、神が御自身を知らせようとされるすべてのことにおいて、わたしたちと他の人々が神の栄光をたたえることができるように<sup>2</sup>、また、神がすべてのことを御自身の栄光のために整えてくださるように<sup>3</sup>祈ります。

1 マタ6・9

2 詩67・2－3 [67・3－4]

3 詩編83編

問 102 第二の祈願において、わたしたちは何を祈り求めるのですか。

答 第二の祈願である「み国を来たらせたまえ」<sup>1</sup>では、サタンの王国が滅ぼされるように<sup>2</sup>、また、恵みの王国が進展させられ<sup>3</sup>、わたしたち自身と他の人々がその中に入れられ、その中で守られるように<sup>4</sup>、そして栄光の王国がすみやかに来らせられるように<sup>5</sup>祈ります。

1 マタ6・10

2 詩68・1、18 [68・2、19]

3 黙12・10－11

4 IIテサ3・1 ロマ10・1 ヨハ17・9、20

5 黙22・20

問 103 第三の祈願において、わたしたちは何を祈り求めるのですか。

答 第三の祈願である「みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ」<sup>1</sup>では、神が御自身の恵みにより、天使たちが天でしているように<sup>2</sup>、わたしたちもすべてのことにおいて、神の御意志を知り、従い、服<sup>ふく</sup>することができるように、またそれを望<sup>のぞ</sup>むようにしてくださるよう<sup>3</sup>に祈ります。

1 マタ 6・10

2 詩 103・20-21

3 詩 67編、119・36 マタ 26・39 サム下 15・25 ヨブ 1・21

問 104 第四の祈願において、わたしたちは何を祈り求めるのですか。

答 第四の祈願である「我らの日用<sup>にちよう</sup>の糧<sup>かて</sup>を今日も与<sup>きよう</sup>えたまえ」<sup>1</sup>では、神の無償<sup>むしょう</sup>の賜物<sup>たまもの</sup>の中から、この世の良きもののふさわしい分<sup>ぶん</sup>を受け、それらと共に神の祝福を喜ぶことができるよう<sup>2</sup>に祈ります。

1 マタ 6・11

2 箴 30・8-9 創 28・20 Iテモ 4・4-5

問 105 第五の祈願において、わたしたちは何を祈り求めるのですか。

答 第五の祈願である「我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ」<sup>1</sup>では、神がキリストのゆえに、わたしたちのすべての罪を無償<sup>むしょう</sup>で赦<sup>ゆる</sup>してくださるよう<sup>2</sup>に祈ります。わたしたちは神の恵みによって、他<sup>た</sup>の人々を心から赦<sup>ゆる</sup>すことができるよう<sup>3</sup>にされていますので、なおさらそのよう<sup>3</sup>に求めることが勧められています。

1 マタ 6・12

2 詩 51・1-2、7、9 [51・3-4、9、11] ダニ 9・17-19

3 ルカ 11・4 マタ 18・35

問 106 第六の祈願において、わたしたちは何を祈り求めるのですか。

答 第六の祈願である「我らをこころみにあわせず、悪より救<sup>い</sup>出したまえ」<sup>1</sup>では、神が、罪<sup>おか</sup>を犯<sup>ゆうわく</sup>す誘惑からわたしたちを守ってくださるよう<sup>2</sup>に、あるいは、誘惑された場合には、わたしたちを支<sup>さ</sup>え、助<sup>た</sup>け出してくださるよう<sup>3</sup>に祈ります。

1 マタ 6・13

2 マタ 26・41

3 IIコリ 12・7-8

問 107 主の祈りの結<sup>むす</sup>びの言葉は、わたしたちに何を教えていますか。

答 主の祈りの結びの言葉である「国と力と栄えとは、限りなく、なんじのものなればなり、アーメン」<sup>1</sup>は、祈りにおける励ましを神だけから受けるということ<sup>2</sup>と、わたしたちの祈りにおいて、国と力と栄光を神に帰して神を賛美するように<sup>3</sup>と教えています。そして、祈りが聞かれるようにという願いと、それが確かに聞かれるという確信の証しとして、わたしたちは「アーメン」と言うのです<sup>4</sup>。

1 マタ6・13

2 ダニ9・4、7-9、16-19

3 代上29・10-13

4 Iコリ14・16 黙22・20-21

### 袴田康裕訳（第二版）から修正した箇所一覧

（但し、漢字とひらがなの入れ替え、ルビの追加は除く）

- 答 3 「聖書は、主に、人間が神について信じなければならないことと、神は人間にどのような義務を求めておられるかを教えてください。」 →  
「聖書はおもに、人間が神について何を信じなければならないか、また、神は人間にどのような義務を求めておられるかを教えてください。」
- 問答 6 「神には」 → 「神 [であること] には」
- 問答 8 「実行」 → 「遂行」
- 答 9 「力ある言葉によって」 → 「御自身の力ある言葉によって」
- 答 2 1 「一人格」 → 「一位格」
- 答 2 5 「神の義を満足させて」 → 「神の義を満たし」
- 答 2 6 「守られること」 → 「守ること」  
「征服されること」 → 「征服すること」
- 答 2 7 「十字架の呪いの死を受けられたこと」 → 「十字架の呪われた死を忍ばれたこと」
- 答 4 3 序言の引用の後に※を入れ、欄外に次の註を入れる。  
※十戒の引用は新共同訳聖書による。
- 答 4 5 「あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない」の後に※を入れ、欄外に次の註を入れる。  
※底本の欽定訳は “**Thou shalt have no other gods before me.**” で、「わたしの前に」という言葉があるが新共同訳にはない。
- 問 4 8 「第一戒の「わたしをおいてほかに」という言葉によって、わたしたちは特に何を教えられていますか。」 →  
「第一戒の「わたしの前に」※という言葉によって、わたしたちは特別に何を教えられていますか。」 ※ “**before me**” の訳。新共同訳にこの言葉はない。」
- 答 6 0 「すべての時間を公的私的に神を礼拝する営みに費やす」 →  
「すべての時間を公的私的に神を礼拝する営みに用いる」
- 答 6 5 「すること」 → 「行うこと」
- 答 7 1 「行為」 → 「ふるまい」
- 答 7 4 「富と財産」 → 「富と物質的な生活状態」
- 答 7 5 「富や財産」 → 「富や物質的な生活状態」
- 答 8 0 「わたしたち自身の状態」 → 「わたしたち自身の状況」
- 答 8 1 「わたしたち自身の生活状態に全く満足しないこと」 →  
「わたしたち自身の生活状態に少しも満足しないこと」
- 答 8 3 「神の御前に」 → 「神の判断において」
- 答 8 7 「理解して」 → 「悟ることによって」



- 答92 「表され」→「現され」
- 答98 「神の憐れみへの感謝に満ちた謝辞とともに」→  
「神の憐れみへの心からの感謝とともに」
- 答100 欄外に次の註を入れる。  
※主の祈りの引用は『讚美歌』（日本基督教団出版局、1954年）564番による。
- 答102 「来るように」→「来らせられるように」
- 答107 「『国と力と栄えとは、限りなく、なんじのものなればなり』」→  
「『国と力と栄えとは、限りなく、なんじのものなればなり、アーメン』」  
「祈りにおいて」→「わたしたちの祈りにおいて」